

カリキュラムマップ

大阪大学 数理・DS・AIリテラシー教育プログラム



学修目標

- 現代のAI技術をその可能性と限界を踏まえた上で正しく理解し、統計情報を正しく解釈できるデータリテラシーを身に付ける。
- 文系の学生は実社会の問題解決に数理的思考・手法が有効であることを学び、理系的な発想を加えてデータ・AIを日常生活や仕事等で活用できる能力を身に付ける。
- 理系の学生はデータ・AIを取り巻く社会的課題を理解し、文系の感性をもって数理的手法を駆使したデータ・AIの利活用を実践できる能力を身に着ける。

必修科目（2単位）と選択科目（2単位）から合計4単位以上を修得することにより修了証を授与

		1年	2年	3年	4年	修了要件
全学共通教育科目	基盤教養教育科目		<ul style="list-style-type: none"> ● 文理融合に向けての数理科学Ⅰ 			必修科目 選択科目 (1科目以上)
	専門基礎教育科目		<ul style="list-style-type: none"> ● 文理融合に向けての数理科学Ⅱ ● データサイエンスの基礎Ⅰ ● コンピュータアルゴリズム入門 			
	学問への扉		<ul style="list-style-type: none"> ● 統計学A-I (人文系) ● 統計学B-I (医歯薬系) ● 統計学C-I (理工系) 			
専門科目 (経済学部)		<ul style="list-style-type: none"> ● ロボティクスとデータサイエンス ● 心理学とAI・データサイエンス ● データサイエンス×ものづくり 		<ul style="list-style-type: none"> ● 統計 		

取組概要

大阪大学 数理・DS・AIリテラシー教育プログラム



実施機関

MMDS 数理・データ科学教育研究センター

プログラム運営責任者：鈴木 貴（副センター長）
専任教員：12名 兼任教員：69名
所属教員による講義・教材開発・FD

協力機関

数理・DS・AI教育西日本アライアンス

(西日本10大学の部局間協定・大学間共同PBL)

一般社団法人 数理人材育成協会

教材共同開発・社会人教育からのフィードバック

評価機関

MMDSアドバイザー会議

学内責任者：田中敏宏（大阪大学副学長・理事）
学外有識者（令和2年度現在）

- 近畿経済産業局 地域経済部長 ● ダイキン工業（株） 社友
- （国研）医療基盤・健康・栄養研究所 理事長

リテラシー教育プログラム構成科目：

必修科目

2単位

文理融合に向けた数理科学Ⅰ

- 数理・データサイエンス・AI（リテラシーレベル）モデルカリキュラム準拠
- 導入・基礎・心得・選択（統計および数理基礎、アルゴリズム基礎）の内容を網羅
- Eラーニング補習教材完備

選択科目

各2単位

統計学A-I*

統計学B-I*

統計学C-I*

統計**

文理融合に向けた数理科学Ⅱ

データサイエンスの基礎Ⅰ

コンピュータアルゴリズム入門

学問への扉：ロボティクスとデータサイエンス

学問への扉：心理学とAI・データサイエンス

学問への扉：データサイエンス×ものづくり

*A：人文系，B：医歯薬系，C：理工系 **経済学部専門科目

修了要件：

上記科目から4単位以上。単位取得者には修了証を授与

